

留学レポート No.2 2007/ 3/25 泌尿器科 畠山真吾

お久しぶりでございます。時間が経つのは早いもので、渡米してから半年が経とうとしてます。未だに毎日生きるのが精一杯ですが、日常は徐々に平穏になってきました。相変わらず英語は難しいし、まだ「慣れた～」とは言えないのが残念ですが、異国の地で生きていることだけでも幸せと思う今日この頃・・・。

研究の方は、徐々に実験の量も増え、夜遅くまでやっても間に合わないくらいになってきました。当直がない分規則正しくて健康的なのでしょうが忙しさはあまり変わらず、いかにうまく時間を使うかが大事なポイントになっています。現在 3 つのテーマで実験をしています。精子の運動、前立腺癌局所浸潤のメカニズム解析、癌特異的抗癌剤の研究などなど、どれもなかなか手ごわいテーマです。一生懸命やってもなかなか予想どおりにはいかない所もまた奥が深く、検証→新たな実験→結果→検証といった作業を繰り返し、実験の条件を決めたりしている間に時間が過ぎてしまいます。何よりまだ知らないことばかりなので「これどこあるの？」から教わりながら、失敗しながらの日々です。

研究生活は今まで以上に運動不足になるし(もともと肥満だし・・・)非常に地味ですが、だれも知らない新たな結果(良くて悪くて・・・)を知ることは刺激的だし、臨床をやりながらでは出来ないことが出来る環境にいる幸せを感じつつ精一杯やっております。日々、家内に「帰りが遅い・・・」と文句を言われつつも、知る喜びに後押しされながら、こだわり過ぎず、欲張り過ぎず、あきらめず・・・をモットーに(全部ムリだなあ・・・)新しい発見と失敗を楽しんでおります。当ラボについてはこちらを参照ください。Glycobiology のラボですが遺伝子、タンパク、糖鎖と何でもやっています。

<http://www.burnham.org/default.asp?contentID=144>

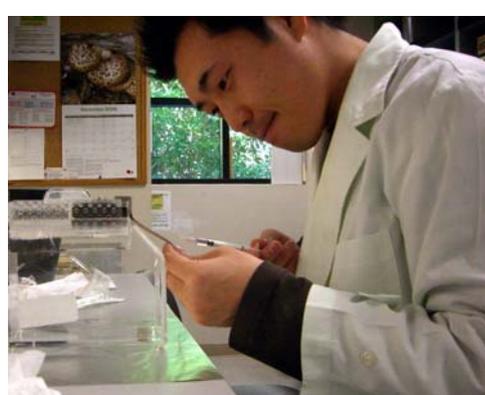


Fukuda Minoru & Michiko Lab's

<バーナム研究所>



冬だというのに、この青空。



研究室。マウスのシッポからの注射に悪戦苦闘の様子。

では、最近の出来事について、写真と共に紹介いたします。

<Expedia の Refund 事件>

Expedia はネットでホテルをとったりできる便利なサイトです。こっちに来た当初、アパートが見つからないためホテルを移動したのですが、その際 Expedia を利用しました。ホテルに移動後すぐに短期で入居できるアパートが見つかりホテルのキャンセルをしたのですが、それが事の始まりでした。精一杯の英語でホテルに事情を説明すると、Expedia 経由の予約のため、ここではできない、Expedia に連絡してくれ、とすぐ早い英語で説明され、しょうがないので決死の覚悟で Expedia に電話すると、自動受け答え機につながりました。で、この機械に英語で答えていくシステムがひどい。イエス、ノーなら簡単なのですが、予約番号がある場合は Existing itinerary と言え、とってきます。で、イグジスティング・アイタ～ナリー、といろいろ発音を変えて何度も言うのですが機械は理解してくれず、あれこれ格闘した挙句、時間切れとなりオペレーターに繋ぐまで待たされ(しかも10分以上は普通・・・)やっとながったと思えばまた英語で格闘し、ホテルの返金の依頼を連絡すると、新たな itinerary 番号を教えてくれ、ホ

テルのチェックアウト後また電話をくれ、といわれました。で、チェックアウト時にまたホテルのフロントに事情を説明すると、マネージャーらしき人が OK、Expendia に電話は要らないよ、というではありませんか。またあの機械と格闘も嫌だったのでそのままにしていたのですが、12月になっても Refund の気配もありません。しょうがないので Expedia にメールすると電話しろ、との返事。しょうがないのでまたあの機械との格闘です。同じようにイグジスティング・アイタ〜ナリー、といろいろ発音を変えて何度も言うのですがやっぱり機械は理解してくれず、あれこれ格闘してもやっぱりオペレーターに繋ぐまで待たされ(10分以上)、つながったかと思うと、マネージャーが休暇、3時以降はいない、あとで電話してくれ、といわれ同じ事を6回繰り返してやっと返金してもらいました。ほんとにアメリカって国にはいろいろやられます。大事なことはしつこいくらい確認しないといけないことがよくわかりました。

<Christmas holidays>

こっちのクリスマスは気合が違います。日本は恋人達(?)と子供のお祭りといった感がありますが、宗教的にも背景が違うためすごい盛り上がりです。まず至る所にツリーが飾られ、商店街はもちろん、ふつうの家々がドレスアップします。そしてデパートでは安売りが始まり、街は浮かれた雰囲気。噂では貯蓄する習慣のないアメリカ人は一年の稼ぎをクリスマスで派手に消費する、とのこと。アメリカ人のクリスマスへの激しい情熱を感じました。



あまり祭日が無いアメリカですが、11月のサンクスギビングと12月のクリスマスの4連休が大型連休になります。中には長期休暇をとる人も多く、12月後半にはラボの駐車場はガラガラです。しかし、当ラボは日本人・中国人・韓国人といった構成なので Xmas に関係なく仕事しており、アジア人は良く働くなあ、と自分もアジア人なのに感じてしまいました。

<とんかつ定食>

こっちでの食事はほとんど妻の作る和食(これが一番うまいし健康に良い)なのですが、久しぶりに外で和食を食べてみました。とんかつ定食\$8.08=¥970。安いのか高

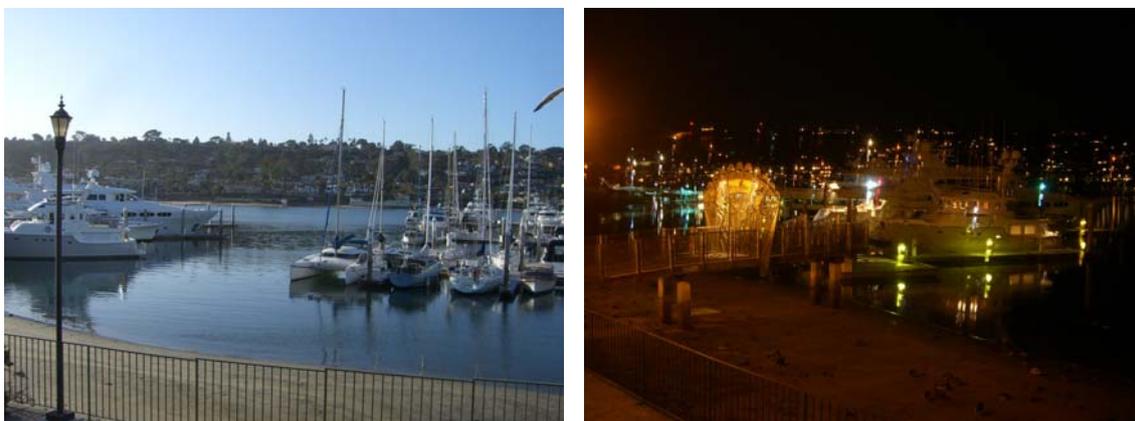
いのか微妙な値段。劇的にうまいわけでもないのですが、懐かしい味に旨いと感じてしまう自分……。こっちに来る前は何でも食えると思っていたのですが、無理ということがよく分かりました。味覚は正直に日本のアジを求めているようです。



とんかつ定食(左)とヒレカツ定食(右)

<San Diego Glycobiology Meeting>

San Diegoで糖鎖の研究をしている人たちの学会が2007年1月19日に行われました。日本でいうと〇〇県泌尿器科研究会といったところでしょうか。San Diego Bayに面したホテルで行われ、気分と立地はリゾート地。昼の空き時間はポイント・ローマという岬にちょっと足を伸ばし(寒かったけど)、夜はクルーザーでディナークルーズと食いまくりでした。ああ、せっかくのダイエットが水の泡……。



クルーザーが立ち並び、リゾート地っぽい雰囲気。[Shelter Island](#)です。



San Diego Coronado Bay Bridge



ハイカロリーなメキシカン料理。

<Tax Return>

この時期のアメリカは税金シーズンとなります。日本で言う確定申告、みたいなものです。もちろん留学生も申告書を書いて出さないといけません。日本での確定申告も非常に面倒で嫌いなのに、日本語で書いてあっても意味不明なのに、それが英語で書いてあった日には、「??」です。結局、J1ビザで留学している人は2年以内だと免税になり、取られた税金はほとんど帰ってくるシステムなのですが、何をどう書いていいのかサッパリよくわかりません。W2 という書類がラボから届き、基本的にはここに書いてある内容を、書類に、書き込んでいたり、計算したりして行けばいい……のですが……さっぱりわかりません。そもそも単語の意味が何をさしているのかわからない。幸い、[日本語で解説しているHP](#)がいくつかあったりして、だいぶ助かったのですが、結局あれこれ聞きまくってなんとか郵送となりました。テキストでもいような話をよく聞きますが、たまに詳しく調べられて面倒なことになるのは恐ろしいので慎重になってしまいます。また来年もあるし、再来年の帰国後もやらねばならないし、日本の確定申告もあるし、うんざりです。ま、これも経験。一歩ずつやってくしかありませんね。

と、こんな感じでプライスレスな生活しています。また頃合をみて第3報をお届けします。ではまた。

2007/03/25 畠山真吾